

第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会「アジアワンヘルス福岡宣言 2022」 !!

第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会は、11月11日（金）～13日（日）の3日間、「**アジアからのワンヘルスアプローチをテーマ**」にアジアにおけるワンヘルスの実践的な取組について熱心な議論がなされました。

本大会の成果として取りまとめられた「**アジアワンヘルス福岡宣言 2022**」が藏内勇夫 FAVA 会長から読み上げられました。

2022年11月13日

「アジアワンヘルス福岡宣言 2022」

ワンヘルスは、動物と人の共生社会づくり、生物多様性や環境の保全などによって、地球や社会の持続的な発展を目指している。

現在、世界では、COVID-19、新型インフルエンザ、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）など人と動物の共通・新興感染症の国境を越えた発生や、薬剤耐性（AMR）が大きな課題となっている。このようなことから、FAVA 加盟国は、連携・協力してワンヘルスを実践しなければならない。

我々FAVA 加盟獣医師会及び所属する獣医師は、ワンヘルスの先進地である福岡県において開催された第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会の成果を踏まえ、「FAVA 戦略プラン 2021-2025」に基づくワンヘルスアプローチを一層発展させ、その実践活動をアジア・オセアニア地域から世界に向けて発信することを決意し、以下のとおり宣言する。

1. 新興・再興感染症を含む人と動物の共通感染症の予防及びまん延防止に万全を期するため、感染源、感染経路及び宿主対策についての調査・研究体制を整備するとともに、情報の共有に努める。
2. 薬剤耐性菌が医療と獣医療において重大な脅威となっていることから、抗菌剤の慎重かつ適正な使用を徹底し、薬剤耐性（AMR）対策を推進する。
3. 動物と人が共生する社会を構築するため、生物多様性の維持や地球環境の保全を積極的に推進する。
4. 獣医学教育の更なる整備及びワンヘルスアプローチによる国際連携により、WOAH（OIE）Day One Competencies（獣医師が具備すべき知識・技能・態度）を有する獣医師の育成に取り組む。
5. 医療関係団体、行政機関、市民団体及び大学、WVA、WOAH（OIE）、WHO、FAO、UNEPなどの国際機関と協力し、ワンヘルスの課題解決と推進に取り組む。
6. アジアにおけるワンヘルスの課題への研究と児童、生徒及び市民に対するワンヘルス教育の普及のために、FAVA 活動の拠点を整備・強化する。



【藏内勇夫 FAVA 会長】

本宣言をアジア獣医師会連合から世界に向けて発信することにより、今後のアジア及び世界におけるワンヘルスの実践活動をリードしていくことを決意し、本宣言をここに発表いたします。なお、本宣言の内容は FAVA 加盟 23 カ国・地域の 24 獣医師会にも賛同をいただいております、代表者から既にご署名をいただいております。



2022年11月14日

福岡ワンヘルス協議会・事務局